

また、家庭学級等で子どもの読書・絵本との出会いの大切さをアピールした。

## 8 複写サービス

申し込み件数、枚数共年々上回ってきている。明治・大正・昭和前期に出版された資料は紙質も悪く、コピー熱のため汚・破損が懸念される。

非所蔵資料については、国立国会図書館等関係機関へ依頼して、利用者に当該資料を提供した。

〔表8〕 複写利用状況

区分	自館処理	他機関依頼	計
件数	10,421	51	10,472
枚数	120,240	1,218	121,458

## 9 展 示

図書館利用者の拡大と地域文化の再発掘・評価を意図する展示活動は、企画委員会の計画に基づき、館外関係者の協力も得て計6回開催した。

本年度実施した展示会の概要は以下のとおりである。

- (1) 「復刻『風俗画報』」展（平成4年4月11日～6月3日）  
明治22年から大正5年にかけて発刊された、わが国グラフィック雑誌の先駆けである『風俗画報』の復刻版計517冊のうち的主要なもの100冊を展示した。
- (2) 「オリンピックとスペイン関係図書」展  
（平成4年6月9日～8月5日）  
バルセロナ・オリンピックおよび、コロンブスのアメリカ大陸到着500年に因み、オリンピックの歴史と現状・課題を扱った図書、それにスペインを総体的に知るための各分野の主要図書計100冊を紹介した。併せて第1回のアテネ・オリンピックからのポスター（縮刷）を展示、また目録を作成して参考に供した。
- (3) 「『集古十種』」展（平成4年8月7日～9月30日）  
松平定信の編纂した、江戸時代後期の古宝物等の図解『集古十種』（和本85冊、国書刊行会発行の大型本4冊）計89冊の図書と、関係資料、パネル等約20点を展示した。
- (4) 「受賞児童図書」展（平成4年10月2日～12月1日）  
児童文学賞の代表的賞といわれる「赤い鳥文学賞」「絵本ニッポン賞」「野間児童文芸賞」の三賞を各々受賞した、第1回から平成3年までの図書計100点を展示し、案内した。
- (5) 「みちのく伝統こけし」展  
（平成4年12月4日～平成5年2月3日）  
こけし蒐集家所蔵の、東北各県の伝統こけし200本を借用・展示するとともに、当館所蔵関係図書50点、および写真パネル、解説文パネル等を展示、さらに展示目録を配布して大きな反響を呼んだ。
- (6) 「新着郷土資料」展  
（平成5年2月5日～3月31日）  
本県にとって“未来への遺産”ともいえる郷土資料の新着分から、主要なもの約80点を展示・紹介し、併せて収

集への協力を呼びかけた。

## 第4節 館外奉仕

### 1 移動図書館の巡回

図書館未設置町村の、図書館活動の促進を図ることを目的として、資料の援助や公民館図書室の運営相談を行った。

本年度の利用状況は、次のとおりである。

〔表9〕 平成4年度移動図書館「あづま号」利用状況

コース名	巡回回数	延べ日数	町村数		貸出冊数
			貸出巡	事務連絡	
伊達	2	6	7	0	4,518
安達	2	4	6	0	3,890
岩瀬石川	2	6	6	0	2,551
田村	2	4	4	1	1,827
東・西白	2	8	6	1	2,849
会津Ⅰ	2	8	6	2	3,141
会津Ⅱ	2	8	9	0	4,805
南会津	2	8	5	2	2,009
相双	2	8	6	4	2,302
計	18	60	55	10	27,892
			65		

### 2 親子読書文庫

親子の読書をととして家庭の中に読書習慣を形成し、豊かな情操と心身の健全な成長を図ることを目的とし、親子読書文庫活動の推進に適當と思われる文庫を、町村をととして指定し、協力援助を行った。

設置団体数は20。内訳は家庭文庫4、地域文庫7、幼稚園保育所文庫9、貸出は12,000冊。

県北	伊達郡川俣町	ゆずり葉文庫
	〃	せせらぎ文庫
	〃	ふれあい文庫
	〃 月舘町	下手渡文庫
	安達郡岩代町	田沢読書グループ
県中	岩瀬郡長沼町	なかよし文庫
	石川郡石川町	谷沢保育所文庫
	〃 平田村	さくら文庫
	〃 浅川町	うさちゃん文庫
県南	西白河郡中島村	中島幼稚園文庫
	〃 表郷村	アトリ文庫
	〃	たけのこ文庫
会津	耶麻郡山都町	相川文庫
	〃 西会津町	森野文庫